

# 2016 年度千葉県支部総会報告

場所：千葉市生涯学習センター

日時：2016 年 4 月 16 日

総会：13:30～14:30

講演会：15:00～16:30

## 総会

2016 年度支部総会が、来賓として工業会本部から金子理事長を、記念講演会に理工学府環境創生理工学科助教松本健作先生を迎えて出席会員 24 名で開催されました。

高橋正明氏（39C）の司会進行により、島瀬省三支部長（37C）の挨拶、来賓紹介後議事が行われた。

支部長挨拶では日頃の支部会員の支部運営協力への感謝が述べられ、去年の創立 100 周年記念事業のこと、工業会本部の表彰制度で支部会員から本間昭氏（22E）が工業会賞、山本鉦太郎氏（28C）と小関光二氏（36C）が社会貢献賞で表彰されたこと等が報告された。今年度は支部再開 15 周年の節目を迎え一層の発展に努力することが表明された。

支部再開後初代支部長として支部の礎を築いてくれた本間昭氏が昨年暮れに逝去されたことが報告され、黙祷を行った。

議長に箕浦孝副支部長（39D）を、書記に諏訪原俊一氏（46K）を選出して議事に入った。

増田善一総務担当（49P）が 2015 年度事業報告を、橋爪準一会計担当（57W）が収支決算報告をそれぞれ総会資料に基づいて行った。

事業報告では朝日プリンテック見学会が盛況であったこと、ゴルフ同好会等会員交流の実績が紹介された。

高橋正明監査役（39C）が収支決算について適正である旨監査報告をした後、全会一致で報告通り承認された。

引き続き 2016 年度の事業計画案と予算案が、総務担当と会計担当よりそれぞれ総会資料に沿って提案された。

今年度は支部再開後 15 周年の記念事業を計画して行くこと、会員相互の交流・親睦の機会を増やしてゆきたいので同好会等への会員よりの提案や行事への参加をお願いし期待していること等の説明があり、両案とも全員の賛同で承認された。

総会終了

## 来賓挨拶

金子理事長から、千葉県支部の協力への感謝が表明され、100 周年記念事業募金のこれまでの実績と主な内訳、工業会員数の実情、本部財政状況実情と財政改善への取り組み状況、学生の就職支援活動で企業説明会の開催等工業会として支援していること等の紹介を頂いた。



総会風景



総会風景



総会風景



来賓挨拶：金子理事長

## 記念講演会

『教育・研究におけるL I V E感！～殆どいつでも新発見～』と題して松本健作助教に講演頂いた。  
講演内容：

学生を引き付けるために授業に様々な工夫をしていること、結果として最も魅力的な授業に選ばれたこと、筑波での土砂崩れの実験により実験によるデータの再現性の無さから失敗した経験を基に研究室での研究の限界に気づき現場での実践を取り入れていること、繰り返される堤防決壊災害は何故防げないのか、現在の堤防構造調査は1km毎に1カ所とかキメが荒いため弱い部分が把握できない。これをキメ細かくすると天文学的な費用がかかるため現実的ではないこと、現場実践として桐生川の堤防外に調査用の穴を掘って地下水の流れを調査し、川の流れとは違う方向の流れや川にいるのとは別な生物がいることを発見していること、昔の大学者の例から主張することの大切さ、「間違いが間違いであり続けるとは限らない 若人よ 主張せよ 主張は生き続ける」と閉めの言葉で終了した。河川防災研究の実例を交えながらの澁漕・前向きな活力をもらえる講演であった。



講演する松本先生



講演会終了後の記念撮影

## 懇親会

恒例の懇親会は、来賓の金子理事長と松本先生夫妻を囲んで開催された。参加者は20名であった。増田総務担当の気配り豊かな司会・進行の中、参加者全員、和気藹藹と楽しく歓談し制限時間一杯の盛り上がりで終了、再会を約して解散しました。(下記懇親会の写真)



(報告、久保田昇 40E)